

LPGAのジュニア育成・強化・普及

ゴルフを通して子どもたちが 学ぶことができる6つの価値観

①正直

正しく、自分や他の人に対しても嘘のないこと

ゴルフは審判のいない唯一のスポーツです。プレーヤーは自分で正しくスコアを付けます。また、コースもボールもあるがままの状態プレーする必要があります。それができない時は、ゴルフルールのもと正しい処置を取らなければなりません。

②責任

自分がすべきことを行い、 他者への心配りをすること

プレーヤーはエチケットやマナーを身につけ、プレー上では、クラブ選択など自分のプレーに対してすべての責任を持つとともに競技においては一緒にプレーするプレーヤーのスコアを数えることが求められます。また、ディボットやボールマークを直すなどコースへの配慮を持つ責任があります。プレー外では、ゴルフを愛するすべての仲間がゴルフを楽しめるように心配りが求められます。

③礼儀

周囲への気配りや敬意、 慎しみの気持ちを持ち行動すること

ゴルフ場で会う人たちは、みな同じスポーツを愛する仲間です。一緒にプレーするプレーヤーだけでなくゴルフ場で会う人々への挨拶や周囲を気遣う配慮を忘れないようにしましょう。

④感謝

人や物事への理解を深め、 ありがたい気持ちを表すこと

プレーヤーはゴルフを楽しめる環境に感謝し、与えられた環境やプレーする機会、そしてそれらを取り巻くあらゆる人々に対する感謝の心を持ち、その気持ちを言葉や態度で表しましょう。

⑤尊敬

他者や物を大切にし、認め合うこと

ゴルフをプレーするためには、自分、一緒にプレーする仲間、道具、ゴルフ場、そしてゴルフの歴史や文化を大切にすることがとても重要です。

⑥自立

自分が決めて行動した結果を引き受けること。 他からの支配や助力を受けずに存在すること

プレーヤーはコース上では自分の判断で戦略を考え、クラブを選び、プレーすることが求められます。プレー以外でも自分でできることは自分で考え、判断し、行動することが必要です。

